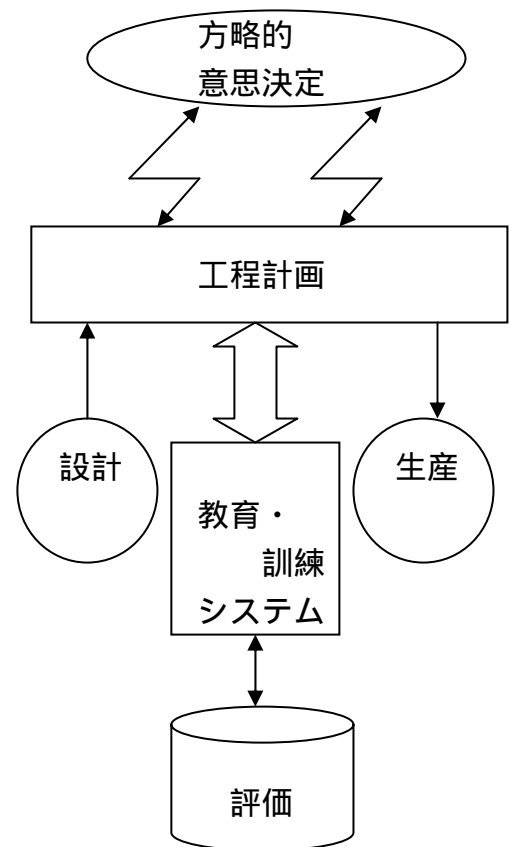




氏名 大橋 和正 (おおはし かずまさ) 1951年生
所属 教育学部・技術教育・教授
Tel 086-251-7673 (ダイヤルイン)
Fax 086-251-7673
E-mail kazumasa@cc.okayama-u.ac.jp
HP <http://mfg.ed.okayama-u.ac.jp/>

ひとこと：ものづくりにおける工程計画論、作業に関する教育訓練システムの構築、さらには生産教育論について研究をしています。

1. 人間主体生産のための工程計画と作業訓練法
高品質多様化製品の極少量生産では、作業者の熟練・技巧を重視した作業工程が多く存在します。そこで、システム理論を適用し、人間を主体とした各種工程計画問題の解析的研究、および技能向上を目指した作業訓練法の研究を行っています。
2. 自動生産のための工程計画とその訓練システム
生産戦略としてのフレキシブル生産システム(FMS)やフレキシブル加工セル(FMC)に関する動的工程計画問題の解析的研究、およびその工計画能力の育成を目指した訓練システムの構築研究を行っています。
3. 生産教育・生産ネットワークに関する研究
コンピュータによる効率的なものづくり教育を支援するための生産ネットワークの構築、バーチャル・ファクトリとしてのファクトリ・オートメーションの教材化、リサイクルを重視した循環型産業システムの構築などです。



キーワード：工程計画、技能訓練システム、生産戦略、生産教育

キーワード用語集（大橋和正先生）

工程計画・・・・・・・・・・素材から製品を製造する過程で、工程設計と作業設計に分けられる。工程設計は全体的な生産工程に関する意思決定であるのに対して、作業設計はより具体的であり、各工程での作業に関する詳細な意思決定である。設計と生産の橋渡しの存在である。

技能訓練システム・・理想的な作業状態に向けて、いかに技術・技能をトレーニングさせるかの方法論を基に、システムとして実現化したもので、生産現場での研修や教育への活用が期待される。

生産戦略・・・・・・・・・・物づくりにおいて、目的達成のために有効資源に関する最適活用の意思決定をして、それを方略的側面から実践する全体的な手続きである。

生産教育・・・・・・・・・・効率的な物づくり、および上手な物づくりを実現するための教育訓練の方法論をいう。作業者の潜在的な技術・技能レベルの向上や、作業に対する意識の高揚を図る要素も含まれる。